

2024年度学校評価報告書(香里ヌヴェール学院中学校・高等学校)

学校目標	地域に愛される学校を目指し、創立以来の目標である「平和の天使」を育成していく。
	本校で学ぶ子どもたちが、多様性と課題に満ちたこれからの世界の中で、“神の手足となり、人々の心を平和のうちにつなぐ人”として仲間のために生きるには、真理を探究し続ける力と、幸せを実現するための最適解を仲間とともに創り出す力を育むことが必要である。知識・情報・智恵を活用し合い、互いの持つ力を引き出し合い、仲間とともに最適解を創り出す経験を、子どもたち自身が豊かに積み上げていけるよう、探究学習を軸にした学びの場を提供していく。

ICT教育	最新の学びの実現と個別最適化
英語教育	世界の人々と、平和の実現にむけた対話を深めるツールとしての英語力や国際関係を養成
探究	世界の仲間と協働し、多様な価値観や能力を引き出し合い、真の幸せの創造へと昇華していく力を養成

学校自己評価			
重点目標	取り組み計画・内容	評価指標	自己評価
探究学習実践による教育充実（探究・英語教育・ICT教育）	①ICT教育	ICT教育実践について ①教員全員がICTを活用する環境にあるか ②教員全員がICTを用いて授業できているか。	○ フルタイムの教員全員にiPadを持たせ、実践する環境を作っている。 ①全館Wi-Fi化、全員が利用することができ、活用できている。 ②a.ICT活用ソフトロイノートを用いて、授業実践を推進できている。 b.採点ソフトを用いて働き方改革の推進が取り組むことができた。
	②英語教育	英語教育の充実を図る ①国際教育が実施できたか。 ②コミュニケーションを前提にした授業を行えたか。	○ ①ターム留学、1年留学ともに実施することができた。 ②a.コミュニケーションを前提とした授業を英語で実施した。具体的には約6割の授業において、コミュニケーションを図るよう工夫した。 b.外国人教員のフルタイム3名を動員し、英語教育充実をはかることができた。
	③探究	探究学習の充実を図る ①フィールドワークなど、外部へ積極的に出ることができたか。	○ 2024年3月に実施された探究活動の表現の場であるキャリア甲子園で日本一となり、探究活動の実践が社会的評価を受けることができた。 ①フィールドワーク活動も多く取り組みことができ、充実した1年であった。
教育のレベル向上	各種教員研修の実施	各種研修の実施の有無 ①ICTのスキルアップ向上の取り組みを行なったか。 ②建学の精神を考える取り組みを行なったか。	○ ①ICT教育のスキル向上にむけた少人数グループ単位の授業 研究会を3回以上実施 ②宗教研修1回実施、人権研修1回実施・他校教員との授業検討会の開催(自主参加)
教育環境の整備	生徒増に対応する、安心・安全・快適な環境作り	各種設備の新設や増設、人員の増員と確実な配置ができたか。そのために必要な工事や教職員採用を行なったか。	○ ①新たにウッドデッキを設置し、生徒たちの憩いの場を創出することができ、食事場としてだけでなく、コミュニケーションの場として活用している。 ②防犯防災設備の充実・防火設備定期検査(法令による実施)・生徒数増に伴う守衛体制の強化、防犯カメラの増設、廊下への緊急連絡用内線電話の設置⇒次年度全電話システムの更新に合わせて実施 3設備の点検と改修 4その他 ・セブンイレブン自販機の稼働、休憩スペース、各種自動販売機の増設

学校関係者評価
・先生たちは熱心に生徒たちをサポートしてくれている。 ・生徒の主体性が十分に尊重されている。 ・ロイノートを用いたコミュニケーションについて、コミュニケーションの取り方の利便性が向上した。 ・子どもがiPadを操作している姿が、勉強しているのか遊んでいるのかの区別が難しいが、ゲーム感覚で楽しみながら学習することは悪いことではない。ゲーム感覚で楽しみながら学習できる環境は、従来の学習方法とのバランスを大切にしながら取り入れてほしい。 ・「カトリック精神に基づいた教育が行われていると思いますか」の問いに対する「そう思う」の回答率が高いことは喜ばしい。